

TEMM15 ユースフォーラム要約
(大臣会合への結果報告 (仮訳))

私達は、韓国・中国・日本の若者の代表として、この第15回日中韓三カ国環境大臣会合ユースフォーラムに出席するために集まりました。フォーラムにおいて私達は、環境的に持続可能な都市（ESC）に関して意見交換を行いました。若者を代表して、今回のユースフォーラムの概要を発表させていただきます。

各国の発表から、経済、環境、社会が環境的に持続可能な都市の主要な3本柱であるということで意見が一致しました。経済に関しては、韓国がエコドライブの事例について紹介しました。韓国仁川市には、ドライバーがアクセルを踏まないエコドライブ区域があるのです。したがって、エコドライブには、温室効果ガス排出削減だけでなく、エネルギー節約という利点もあります。環境の面では、日本が「里山」の持続可能な利用という伝統的な知恵を共有しました。里山は、地方で生活と保全のバランスを取るため重要な役割を果たしています。社会に関しては、中国が「青年環境友好使者」というプロジェクトを発展させてきました。これは、より多くのボランティアが環境保護活動を行うよう促進する使者を養成するというものです。

私達は、ESCの維持拡大には、政府、コミュニティ、そして若者がしっかりと連携・協力する必要があると確信しています。そこで第一に、政府の奨励策が求められます。第二に、地域社会は自分達が直面する課題を自覚し、創造的に行動すべきです。最後に、私達の最大の関心事として、若者は、都市の生活の質全般を向上させるため、このような活動に熱意を傾けるべきです。

北九州における TEMM15 ユースフォーラムでの素晴らしい経験を踏まえ、私達はこのフォーラムでの学びを政府、学术界、社会（所属する大学・NGOの仲間を含む）に発信・共有し、現場に出て行動し、環境映画祭や地産地消市場等の文化的活動にも参画していきます。

最後に、私達は社会に対して「REPLY」（Reward, Education, Participation, Local Community and Youths）を提言します。ESCのための望ましい行動計画として、政府からの奨励が必要であり、環境教育及び持続可能な開発のための教育（ESD）を強化し、地域社会及び若者の参画を奨励するということです。このフォーラムを通じて、私達は協働の重要性、他者への配慮、行動することの必要性、三カ国のネットワークによりお互いの見解を共有することの大切さを学びました。

若者代表一同は、TEMM15が、経験を共有しお互いに学び合うという素晴らしい機会を与えてくださったことに、感謝いたします。